

平成 24 年 12 月 12 日

保護者 様

墨田区立向島中学校
校 長 菊本和仁
養護教諭 石井晃子

感染性胃腸炎が流行っています！！

感染性胃腸炎が流行しています。感染経路や予防のポイントなどについては、以下の通りです。

これを参考にさせていただき、感染性胃腸炎に感染しないように、ご注意ください。

1. 感染性胃腸炎とは

感染性胃腸炎とは、主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。

原因となるウイルスには、「ノロウイルス」、「ロタウイルス」、「サポウイルス」、「アデノウイルス」などがあり、**主な症状は腹痛・下痢、嘔吐（吐き気）発熱**です。

これらの胃腸炎は、症状のある期間が比較的短く、特別な治療法がないことから、ウイルス検査を行わず、流行状況や症状から「感染性胃腸炎」と診断されることもあります。

平均 1～2 日間の潜伏期間を経て、典型的には、**嘔気・嘔吐、下痢・腹痛、37℃台の発熱**がみられます（症状の程度には個人差があります）。

2. 感染経路

- 1 感染した人の便や吐物に触れた手指を介してノロウイルスが口に入った場合
- 2 便や吐物が乾燥して、細かな塵と舞い上がり、その塵と一緒にウイルスを体内に取り込んだ場合
- 3 感染した人が十分に手を洗わず調理した食品を食べた場合
- 4 ノロウイルスを内臓に取り込んだ**カキやシジミなどの二枚貝を、生または不十分な加熱処理で食べた場合**

3. 予防のポイント

- 1 **最も大切なのは手を洗うことです。特に排便後、また調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗いましょう。**
- 2 **便や吐物を処理する時は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう**
- 3 症状が消失した後も、**約 1 週間は便の中にウイルスが排出される可能性があるため、登校後も手洗いを励行すること**が大切です。

- * 嘔吐(吐き気)、下痢があった時は、病院に行く・一日休むなどして様子を見て下さい。
- * 特に家族や同じクラス・仲が良い子など、感染しやすいので注意が必要です。
- * トイレのドアノブや、洗面所の水道の蛇口や、共用タオルによく付着しています。注意！！
- * 出席停止の扱いです。医師の指示か、症状が完全に治まるまで出席してはいけません。